

外務省 日メコン交流年2019認定事業

高校生多国間交流プログラム
アジア ユースリーダーズ 2019
in ハノイ
実施報告書



目次

【1】概要	2
【2】趣旨	2
【3】目的	2
【4】日程	2
【5】開催国	2
【6】テーマ	2
【7】参加者	2
【8】プログラム構成	2
【9】1位チーム成果発表内容	3
【10】活動の様子	3
チームビルディング&ウェルカムパーティー	3,4
講義・視察	7
ヒアリング活動	8
ディスカッション・成果発表・表彰式・参加証明書授与・引継ぎ式	9
ディナーパーティー	12
【11】アジアユースリーダーズ2019 in ハノイ 参加校一覧	13
【12】参加高校生の感想	14
【13】各チーム発表内容	16
【14】記事	19

2019年9月13日

各位

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ
事務局長 本田 陽生

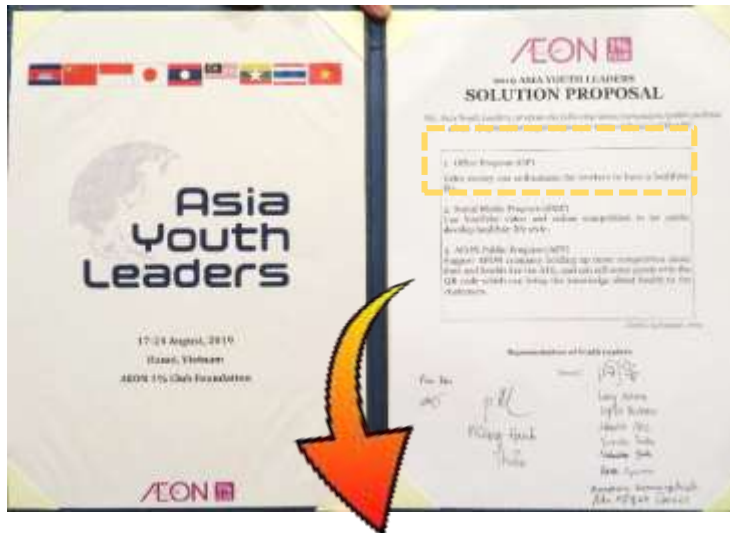
アジア ユースリーダーズ2019 in ハノイ (第10回) 実施報告書

平素より、公益財団法人イオンワンパーセントクラブの活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
標記の件につき、下記の通り、ご報告申し上げます。

記

- 【1】概要：**アジアからの高校生が一堂に会し、開催地域の社会問題をテーマにしたディスカッションを通じて、価値観の多様性を学ぶと共に、テーマに関する改善・解決策を提案するプログラム。
今回、アジアユースリーダーズ第10回目、また、外務省の日メコン交流年2019事業に認定されたこともあり、通常、中国、インドネシア、日本、マレーシア、タイ、ベトナムの6か国にカンボジア、ラオス、ミャンマーの3か国を加え、プログラムを実施。 ※その他、文部科学省の後援認定を受ける
- 【2】趣旨：**テーマを「環境保全、生物多様性」から「食と健康」にシフト。3か年でプログラムとし、第1弾として、日本で食育やその必要性等についての理解を深め、第2弾は、ジャカルタにてインドネシアにおける食習慣の課題に対する提案を行い、本年は、3か年の最終年ということでアジアユースリーダーズの第一回開催国のベトナムに舞台を移し、ベトナムの食と健康についてレクチャー、視察、消費者へのインタビューなどを通して改善点を提案した。
- 【3】目的：**開催国の環境・経済・社会等の問題について英語でディスカッション・発表を行い、多国間交流を通じて価値観の多様性を学ぶとともに同世代の友人ネットワーク構築の機会を提供する。
次代を担う若者の社会・環境問題に対する意識の向上、並びに、グローバルリーダーを育成する。
現実的な社会・環境問題についての学習、視察、ディスカッションを通じ、解決に向けたロジックを磨く。
- 【4】日程：**2019年8月17日(日)～25日(土)
- 【5】開催国：**ベトナム ハノイ(毎年開催地を変えながら実施)
- 【6】テーマ：**「ベトナムの食と健康の課題に対する改善点の提案」
- 【7】参加者：**カンボジア：10名、中国：10名、インドネシア：10名、日本：35名、マレーシア：10名
ミャンマー：10名、ラオス：10名、タイ：10名、ベトナム：10名 計115名
- 【8】プログラム構成：**
- 8月18日 オリエンテーション、講義Ⅰ、ウェルカムパーティー
講義Ⅰ 「プロバイオティクスとあなたの健康」
ヤクルト ベトナム PRチーム マーケティング部 アシスタントマネージャー ヴ トウイ ティエン氏
- 8月19日 講義Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、味の素ハノイ訪問・ディスカッション
講義Ⅱ 「ベトナムにおける栄養革命」 THミルク 研究開発部長 栄養研究所 副所長 リオ グェット アン氏
講義Ⅲ 「食と健康、食習慣の課題」 農業農村開発省 専門家 国際協力局 ダン クイ ニャン氏
講義Ⅳ 「栄養システムの確立」 ベトナム保健省 国立栄養研究所 教授 グエン ドゥ フィ氏
- 8月20日 講義Ⅴ、Ⅵ、ベトナム国家農業大学視察・レクチャー
講義Ⅴ 「健康にかかわる食品と食習慣」
ベトナム国家農業大学 食料科学・栄養局 食料科学技術学部 チャン ティ ラン フン氏
講義Ⅵ 「食と健康 食の安全」 ベトナム保健省 食糧管理局 法令、外交局 グエン ハ アン氏
- 8月21日 イオンモール ロンビエン店にてヒアリング活動
モールについてレクチャー イオンモールベトナム オペレーションマネージャー ドアン ミン ゴック氏
- 8月22日 グループディスカッション
- 8月23日 ①成果発表
②ホスト国ベトナム代表生徒への提言引き継ぎ式、表彰式・ディナーパーティー
- 8月24日 帰国

【9】1位チーム成果発表内容：Cチーム「健康な食生活のためにはどうすれば良いか」



上記チームは、健康問題の中には食事が主な原因になることに着目し、以下の解決策を提案。

1. オフィスプログラム（OP）。

会社の留保している金額の一部を、従業員がより健康的な生活を送ることに費やし、従業員の健康状態に基づく生産性向上を促し、最終的に会社の利益に循環させるプログラム。

2. ソーシャルメディアプログラム（SMP）

YouTubeなどのSNSに興味を惹きつけるような面白い投稿をコンペ形式で行ったり、クイズを出して、一般の人々がより健康的なライフスタイルを身近にできるようにします。

3. イオンパブリックプログラム（APP）

イオンベトナムが食品と健康に関するより多くのコンペを開催し、顧客に健康に関する知識をもたらす。また、イオンの商品にQRコードを付け、食品の情報だけでなく、ゲームや歌などダウンロードできるようにして啓蒙促進する。

【10】活動の様子：

チームビルディング & ウェルカムパーティー（8月18日）

▶ チームビルディング



↑ 初めて会ったチームメンバーとお互い自己紹介



↑ チームリーダーを決めチームの意気込みを発表

▶ウエルカムパーティー

ハノイ教育訓練局 ブイ キュー アン氏

教育訓練省 国際協力局 グエン ティ トウイ ハ氏

保健省 国立栄養研究所 教授 グエン ドゥ フイ氏

保健省 食糧管理局 法令、外交局 グエン ハ アン氏

在ベトナムカンボジア大使館 特命全権大使 プラック ノオンホン氏

在ベトナムカンボジア大使館 書記官 ソック リティエ氏

在ベトナムインドネシア大使館 特命全権大使 イブヌ ハディ氏

在ベトナムインドネシア大使館 書記官 アルム プリマスティ氏

在ベトナム中国大使館 文化 参事官 ベン シ トゥアン氏

在ベトナム中国大使館 書記官 グアン ウェン ウ氏

在ベトナムミャンマー大使館 特命全権大使 キョウ ソエ ウィン氏

在ベトナムミャンマー大使館 書記官 チャン ニエン ワア氏

在ベトナムタイ王国大使館 公使 参事官 ワラボット ジェーンサワッディチャイ氏

在ベトナム日本国大使館 特命全権大使 梅田 邦夫氏

在ベトナム日本国大使館 大使秘書 宇田川 麻衣氏

在ベトナム日本国大使館 書記官 中馬 愛氏

イオンベトナム株式会社 北部代表 石川忠彦氏、管理本部長 グエン ティ ゴック ヒュー氏

イオンモールベトナム株式会社 ダイレクター 兼 ホーチミン支店長 松林 誠司氏、ゼネラルマネージャー 櫻根 亮氏、

コーポレートプランニング部 ファム フン ティン氏

ACSTレーディングベトナム株式会社 会長 新谷 泰久氏

イオンデライトベトナム株式会社 シニアマネージャー 渡邊 司人氏

▶来賓代表ご挨拶



在ベトナム日本国大使館
特命全権大使
梅田 邦夫 様

(スピーチより抜粋)

アジアユースリーダーズ10周年記念おめでとうございます。また、同様にアジアの若者を支援し続けているイオンスカラシップにつきましても感謝の意を表します。今回のプログラムは日メコン交流年2019事業に認定され、カンボジア、ラオス、ミャンマーの3か国を加えた9か国を代表して参加している皆さんにお会いすることができて光栄です。

明日から、食と健康についてディスカッションが始まりますが、皆さまはいろいろな外国から見たベトナムという側面から考えていただきたいと思います。

農業および農作物においても、アジア全体でも影響力が大きくなって、さらに改善が進んでいます。

皆さんがたくさん栄養の知識を得、お互いにたくさん意見を交換し、理解し合い、そして食と健康についてのより良い提言ができることを願っています。

▶乾杯のご挨拶



ベトナム保健省
食糧管理局
法令、外交局
グエン ハ アン氏

(スピーチより抜粋)

今年のアジアユースリーダーズは、カンボジア、中国、インドネシア、日本、マレーシア、ミャンマー、ラオス、タイ、ベトナムの9か国と非常に多く参加しています。若い時代に、これほどのいろいろな国のアイデアに触れる機会は少なく、非常に素晴らしいと思います。

1週間というこのプログラムを通じて、皆さんが楽しんで、良い経験ができることを祈念して乾杯の挨拶に代えさせていただきます。

▶交流

在ベトナム各国大使館代表やご来賓と記念撮影をする各国高校生



↑カンボジアチーム



↑インドネシアチーム



↑日本チーム



↑ミャンマーチーム



↑中国チーム



↑タイチーム

▶ホスト国（ベトナム）の歓迎パフォーマンス



↑歓迎パフォーマンスを披露するベトナム高校生↑



↑記念撮影

講義（8月18日）

▶講義「プロバイオティクスとあなたの健康」 講師：ヤクルトベトナム



集中して講義を聞く各国高校生



質問をするタイ高校生

講義・視察（8月19日）

▶講義「ベトナムにおける栄養革命」 講師：THミルク社



大画面を活用した講義



質問をするベトナム高校生

▶講義「食と健康、食習慣の課題」 講師：農業農村開発省



子供の栄養摂取課題の説明の様子

▶講義「栄養システムの確立」 講師：ベトナム保健省 国立栄養研究所



質問をするインドネシア高校生

▶視察 味の素ハノイ 訪問



↑給食プロジェクトについて話を聴く各国高校生

↓ベトナム料理を作る各国高校生



↑講師に質問するカンボジア高校生

講義・視察（8月20日）

▶ 講義「健康にかかわる食品と食習慣」 講師：ベトナム国家農業大学



高校生と目線を同じくしての説明



質問をする中国高校生

▶ 講義「食と健康 食の安全」 講師：ベトナム保健省 食糧管理局



ネットのクイズを活用した講義



質問のため挙手する各国高校生

▶ 視察 ベトナム国家農業大学 訪問



ベトナム国家農業大学についての説明



ほうれん草の栽培方法の視察



キノコの研究についての視察



ミツバチの研究についての説明

ヒアリング活動（8月21日）@イオンモール ロンビエン店

▶ 講義「イオンモールの取り組み」講師：イオンモールベトナム



イオンモールについての講義



質問をするタイ高校生

▶ 視察 お客さまへのインタビュー



インタビュー前にチームごとに打ち合わせ



インタビュー後の意見のまとめをする各国高校生



それぞれのプレゼンに向けた質問を聞いていく各国高校生たち

**ディスカッション・成果発表・表彰式・参加証明書授与・引継ぎ式
(8月22日・23日)**

▶**ディスカッション**



過去参加者がメンターとして議論をサポート



議論をまとめる各国高校生

▶**成果発表 (各チーム発表内容詳細はP.16~19をご参照下さい)**



↑Aチーム
「ベトナムにおける健康な食生活と栄養教育の問題」



↑Bチーム
「大人と子供の食生活を改革するには」



↑Cチーム
「健康な食生活のためにはどうすれば良いか」



↑Dチーム
「不均衡な毎日の食事」



↑Eチーム
「飲料および朝食に関する栄養問題の解決策」



↑Fチーム
「ダイエット for ユー」

▶成果発表（つづき）



↑Gチーム
「オーマイゴット、私の体に何が起きてるの？」



↑Hチーム
「より健康な食事を目指した運動」



↑Iチーム
「健康の剥奪（ストリートフード）」



↑Jチーム
「ベトナムの人々の食習慣向上」

審査員紹介

産



イオンベトナム
北部代表
石川 忠彦氏



TH フードチェーン合資会社
学校長
ピート ケネディー氏

官



ベトナム保健省
食糧管理局
法令、外交局
グエン ハ アン氏



ベトナム教育訓練省
国際協力局
グエン ティ トウイ ハ氏

学



審査員長
ベトナム国家農業大学 食料科学・栄養局
食料科学技術学部
チャン ティ ラン フン 博士

▶表彰式

4つの基準（①魅力度、②効果度、③実効性、④発表スキル）に照らし合わせて1位から3位までを選びました。しかしながら、どのチームのプレゼンも興味深かったため、選ぶのが非常に難しかったです。皆さんの多くはすでに食と健康に関して良い解決を見つけたのではないのでしょうか？今後、ここで学んだことを活かしていただけることを願っています。



プレゼンテーションの講評を述べるチャン ティ ラン フン審査員長

第1位



イオンワンパーセントクラブ横尾理事長と記念撮影をする第1位のCチームメンバー

第2位



イオンベトナム石川北部代表と記念撮影をする第2位のEチームメンバー

第3位



ACSTレーディングベトナム新谷会長と記念撮影をする第3位のBチームメンバー

▶引継ぎ式



↑ 1位のチームリーダーから成果発表を引き継ぐアジアユースリーダーズホスト国のベトナム高校生代表



Tianjin Xinhua High school
生徒代表

リーダーよりメッセージ

私たち、チームはベストを尽くすことが出来ました。いろいろなアイデアを考え、チームでまとめていきました。1つのプロセスがいいことが重要ではなく、チームが1つになって良くなることが一番重要だと感じました。メンバーのみんなをはじめ、関わってくれたすべての方々に感謝したいと思います。ありがとうございました！！

▶ディナーパーティー

各国高校生たちによるパフォーマンス



カンボジアチーム



中国チーム



インドネシアチーム



日本チーム



マレーシアチーム



ミャンマーチーム



ラオスチーム



タイチーム

▶表彰式・ディナーパーティー

主な出席者

在ベトナム・ミャンマー大使館 特命全権大使 キョウ ソエ ウィン氏
 在ベトナム・ミャンマー大使館 書記官 チャン ニエン ワア氏
 在ベトナム・インドネシア大使館 書記官 アルム プリマスティ氏
 ハノイ教育訓練局 ブイ キュー アン氏
 農業農村開発省 専門家 国際協力局 ダン クイ ニャン氏
 ベトナム国家農業大学 食料科学・栄養局 食料科学技術学部 チャン ティ ラン フン博士
 イオンベトナム株式会社 北部代表 石川忠彦 氏、管理本部長 グエン ティ ゴック ヒュー氏
 ACSトレーディングベトナム株式会社 会長 新谷 泰久氏
 イオンデライトベトナム株式会社 ハノイ支店長 大西 道治氏
 イオンモールベトナム株式会社 ゼネラルマネージャー 櫻根 亮氏、コーポレートプランニング部 ファム フン ティン氏
 コーポレートコミュニケーション部 グエン ヴァン チャン氏

【11】アジアユースリーダーズ2019 in ハノイ 参加校一覧

国	学校名	国	学校名
中国	Tianjin No. 100 Senior High School	マレーシア	SMK Tmn Tun Aminah
	Tianjin Binhai Foreign Language School		Maktab Rendah Sains Mara Taiping
	Nankai Xiangyu Middle School		Kolej Vokasional Lebu Cator
	Tianjin No. 25 Middle School		SMK (P) Sri Aman
	Tianjin Binhai New District Tanggu No. 1 Senior High School		SMK (P) Pudu
	Tianjin Xinhua High School		SMK Tmn Tun Aminah
	Nankai Xiangyu Middle School	SMK Bandar Seri Putra	
	Tianjin Binhai New District Tanggu No. 1 Senior High School	ベトナム	Trang Huu Trang High school
インドネシア	SMAN 90 Jakarta Selatan		Nguyen Thuong Hien High School
	SMAN 1 Gresik		Nguyen Thi Minh Khai High School
	SMAN 5 Jakarta Pusat		Tran Hung Dao High School
	SMAN 2 Kab. Tangerang		Le Hong Phong High School
	SMAN 2 Cibinong		Việt Đức
	SMAN 2 Unggul Sekayu		Hà Nội Amsterdam
	SMAN 12 Jakarta		Chu Văn An
	SMAN 4 Bogor	Phan Đình Phùng	
	SMAN 8 Bandung	ラオス	Lao-Viet Friendship Secondary School
タイ	St. Gabriel's College		Vientiane-Ho Chi Minh High School
	Chulalongkorn University Demonstration Secondary School		Neerada School
	Nakhonsawan School		Chomkham School
	Sarasas Ektra School	Viengsavanh High School	
	Singsamut School	ミャンマー	PRACTICING HIGH SCHOOL YANGON UNIVERSITY OF EDUCATION KAMAYUT TOWNSHIP
	St. Joseph Thiphawan School		B.E.H.S. (9) KAMAYUT TOWNSHIP YANGON
	Thatnaraiwittaya School		B.E.H.S. (2) BAHAN
	The Prince Royal's College		B.E.H.S. (1) DAGON
Triamudomsuksa School	PRACTICING HIGH SCHOOL YANGON UNIVERSITY OF EDUCATION		
日本	渋谷教育学園幕張中学校・高等学校	B.E.H.S. (2) SANCHANG	
	立命館守山中学校・高等学校	B.E.H.S. KAMAYUT TOWNSHIP YANGON	
	北海道登別明中等教育学校	カンボジア	HUN SEN Skun High School
	秋田県立秋田南高等学校		Hun Sen Kampong Cham High School
	石川県立金沢泉丘高等学校		Phrah Sihanouk High School
	お茶の水女子大学附属高等学校		Phrah Sisowat High School
	神戸市立葺合高等学校		HUN SEN Champou vorn High School
	関西学院千里国際中等部・高等部		Chbar Ampoav High School
	広島大学附属福山中・園等学校		Tep Pranom High School
	American School in Japan		HUN SEN Serey Pheap High School

【12】 参加校高校生の感想 （アンケートより抜粋）



このプログラムを通じて、私はカンボジアの同世代の高校生だけではなく、多くの国の高校生とも交流する機会を初めていただきました。食と健康のことについて、いろいろなことを知ることが出来ました。今回、異なる国（私が話すことができない言語を話す他の国）と意見を交換したり、お互いの言語を教え合えたりしたことがとても良い経験になりました。

（Chbar Ampoav High School、カンボジア）



より自国の環境への意識を強く持たなくてはならないと感じました。また、今回、チームのリーダーになって、リーダーが一番優れている必要はなく、チームを結束させ、正しい方向へ導くことができる人であるべきと知りました。それぞれの国はそれぞれの文化を持っていますが、それは友情をはぐむ障害にはならないと思います！

（Tianjin Binhai New District Tanggu No. 1 Senior High School、中国）



異なる国から異なる言語があり、またさまざまな各国の意見をまとめていくむずかしさも体験できました。そして、どんな問題があろうともあきらめないことやリーダーとはどうあるべきかなど多くを学ぶことが出来ました。このプログラムの一員として過ごせたことを誇りに思います。

（SMAN 8 Bandung、インドネシア）



プログラムの中で、自分の内気な部分を改善しなければいけないと感じました。だからこそ、もっとたくさんの国の人々と話をしたかったです。その中でも、異なる国の人々から本当にいろいろなアイデアや意見があることに気づきました。議論を通じて、お互いの意見の相違を乗り越えられることを経験できました。）

（立命館守山高等学校、日本）



イオンモールロンビエン店では、たくさんの現地のお客さまとお話をし、お客さま自身の声を聞き、私の好奇心に非常に影響がありました。

このプログラムの中で得たベトナムの食と健康に関する考察がそのまま日本の課題解決には直接つながらないけれど、自分がこのプログラムで得た様々な経験を日本に帰ってから多くの人々に話すことによって、良い方向になると考えています。

（渋谷教育学園幕張高等学校、日本）



このプログラムで、私はダイバーシティの重要性を学びました。それは、グループワークにおいて包括的な解決策を提案するためにチーム内の複数の視点を組み込むことができたからです。また、ベトナムが直面している多くの食と健康について学べたことで、自分自身の健康的な食事にも気をつけていきたいです。

（アメリカンスクール、日本）



このプログラムに参加するにあたり、英語でのコミュニケーションスキルの向上だけでなく、多くの国の文化や考えを知ることを期待していました。プログラムを通して、チームワーク、特に異なる文化の違いにも関わらず、助け合い、目標に向かって一緒に進むことを学びました。

(Lao-Viet Friendship Secondary School、ラオス)



多くの新しい友達を作り、より多くの食と健康の知識を期待して、このプログラムに参加しました。

このプログラムを通して、たくさんの国の文化や時間通りに行動する大切さを学びました。ここで得た経験や情報を自国でも広めていきたいです。

(SMK (P) Sri Aman 、マレーシア)



このプログラムで、コミュニケーションの大切さ、チームワークを学び、そして、さまざまな国の若いリーダーたちと強い友情を築くことが出来ました。また、自分たち自身をコントロールして、多くの問題に対し、より良い未来に向けて準備することが出来ました。

(B.E.H.S. (2) SANCHAUNG、ミャンマー)



自分のリーダーシップやコミュニケーションスキルを高め、もっと自信を持ちたいと考えてこのプログラムに臨みました。特にコミュニケーションについて、異なる国、異なる文化や考え方を持つ人々の意見を聞くということは非常に重要なことを学びました。また、責任感を持つチームメンバーとして協業することが最善のチームワークだと思いました。

(The Prince Royal's College、タイ)



ベトナム農業大学の訪問では、教授からたくさんの知見を教え得ていただき、このプログラムの中で一番良かったと感じました。さらに、今回、異なる国の人々と友好的な方法で議論を進めることができ、そして、多くの友達ができました。今後は、マイクロプラスチックの除去（食品汚染）について、伝えたいと思います。

(Hà Nội Amsterdam、ベトナム)



このプログラムを通じて、リーダーシップについて多くを学ぶことができたと思います。リーダーとしてチームメンバーと一緒にプロジェクトを進めていく上で、どんなに大変でも最後まで諦めずに協調性を持ってやり遂げることが大事だと思います。また、健康的な食生活について学んだ事を友人と共有していきたいです。

(Le Hong Phong High School、ベトナム)

【13】各チームの発表内容

■チームA タイトル：ベトナムにおける健康な食生活と栄養教育の問題

1. 生徒の意識を向上させる

健康的な食習慣に関するキャンペーンを促進、実行するために、芸能人を起用する。

2. 学校給食の質を改善する

学校は生徒に手洗い用の消毒液を提供。さらに、昼食時間の15分前に調理し、給食を待つ長い行列を防ぐために複数のテナントを提供する。

3. ストリートフードの安全性を確認する

政府はストリートフードの売り手に厳しい規制を行う。彼らは検査を受け、質の悪い屋台の販売を禁止する。

■チームB タイトル：大人と子供の食生活を改革するには

1. コミュニティのために健康的な屋台を開く

忙しい親や生徒の健康的な朝食をサポートするために、私たちはアクセスしやすい場所に健康的な食品を扱う屋台を開き、生徒とその親が一日を始めるのに最低限の栄養を摂取できるようにします。

2. 健康的な食事をテーマにさまざまな活動をする学生のために1週間のキャンペーンを開始する

企業広告の競争をして、資金を生み出すことも考えました。最後に、学生向けに健康的な食事の概念に関するさまざまな活動を行うキャンペーンを開始することも考えました。

■チームC タイトル：健康な食生活のためにはどうすれば良いか

1. オフィスプログラム（OP）

会社の留保している金額の一部を、従業員がより健康的な生活を送ることに費やし、従業員の健康状態に基づく生産性向上を促し、最終的に会社の利益に循環させるプログラム。

2. ソーシャルメディアプログラム（SMP）

YouTubeなどのSNSに興味を惹きつけるような面白い投稿をコンペ形式で行ったり、クイズを出して、一般の人々がより健康的なライフスタイルを身近にできるようにします。

3. イオンパブリックプログラム（APP）

イオンベトナムが食品と健康に関するより多くのコンペを開催し、顧客に健康に関する知識をもたらす。また、イオンの商品にQRコードを付け、食品の情報だけでなく、ゲームや歌などダウンロードできるようにして啓蒙促進する。

■チームD タイトル：不均衡な毎日の食事

1. 栄養士が学校を訪問するように設定し、学生と保護者のために講義を設定します。
味の素ソフトウェアを利用する。このソフトウェアは、迅速で栄養価の高い食事を手配するのに役立ちます。
2. 食事をとる意識を向上させる。
栄養士とのミーティングのほか、学校の生徒や保護者向けの講義を設定する
3. 健康的で簡単で安価な食事を提案する。
Facebookページやその他のソーシャルメディアを通じて、オンラインコースを提供するなどのダイエット計画を配布することです。

■チームE タイトル：飲料および朝食に関する栄養問題の解決策

1. 栄養に関する基本的な知識を人々に提供し、新しい世代が問題の解決策を思い付くよう奨励する。
栄養に関する講義を行う競争プログラムを導入する。その後、生徒はこの問題の解決に役立つプロジェクトを提案し、実行可能なプロジェクトは政府によって適用される場合があり、優勝チームにはAYLと同様の交換プログラムに参加する機会が与えられます。
2. 学校の炭酸飲料を、カロリー表示のある健康的なスムージーなどの他の飲料に置き換えます。
学校から生徒への炭酸飲料の配布を停止し、ラベル付きのカロリーを含むフルーツスムージーなどのより健康的な飲料に置き換えることです。
3. 1日3日間のチャレンジを実施して、健康的な朝食を毎日摂ります。
ソーシャルメディアを使用して朝食を食べるために30日間のチャレンジを開始する。これは、有名で影響力のある人々からの健康的な食事のプロモーション、およびこのチャレンジに継続的に参加する人々のためのマラソンとコンサートのイベントを参加者に提供する。

■チームF タイトル：ダイエット for ユー

1. 栄養士、食品の専門家を農村部に派遣して、人々に栄養と食品の安全性について教育する
栄養士、または食品の専門家をこの問題が最も重要な農村地域に送り、人々に栄養と食品の安全性を教育し、地域の市場を調べ、さまざまな地域に応じて適切な食事を提供するキャンペーンです。
2. 現地市場の調査とフォーラムの開催
各地域に応じて適切な食事を提供するキャンペーンを達成するために、フォーラムとドアチェックを開催します。
3. 各エリアに適した食事を作成する
ベトナムの人々の栄養不足を改善するために努力してきた民間企業が招待され、キャンペーンへの支援を示すよう奨励されています。政府とのさらなる協力により、栄養価の高い食品をより手頃な価格にすることができるともありません。

■ チームG タイトル：オーマイゴット、私の体に何が起きてるの？

(公開キャンペーン用にInstagramアカウントを作成する)

- 1.現在の世代がベトナムの食糧と健康の問題の存在についての知識を持っていることを確認
- 2.サブソリューションを促進し（認証ロゴを作成し、食品メーカーに必要な機器を提供し、前述の問題に対するガイドラインを作成するよう当局に奨励する）そして1つずつ改善する。
- 3.クラウドファン্ডで資金を調達し、その全ての資金を使って問題解決に使う

■ チームH タイトル：より健康な食事を目指した運動

- 1.ソーシャルメディアで人々に便利で健康的な食べ物を食べさせる
政府が食品産業企業、特に食品スポンサーと協力しソーシャルメディアキャンペーンを実現する
- 2.「ヘルシープレート」の推進
「ヘルシープレート」は、脂肪分、野菜、果物などの理想的な比率を強調している。
- 3.ベトナムの学校に「学校作物」を課す
従来の講義とプレゼンテーションの代わりに、教室で楽しいアクティビティを導入することで、子供や若者を引きつける。

■ チームI タイトル：健康の剥奪（ストリートフード）

- 1.ベトナム政府は、すべての食品売場のセキュリティチェックを実施し、資格を満たしていることを示す証明書を発行する。
- 2.政府は、屋台の売り手のために衛生区域を組織する。
- 3.保護者は、幼少期からストリートフードの安全性について子供たちの意識を高め、味ではなく健康に基づいて食べ物を選ぶように教える。

■ チームJ タイトル：ベトナムの人々の食習慣向上

- 1.ポスターコンペを設定する
若い学生を対象とした全国ポスターコンテストを開催する。地区から都市、地域、そして全国です。最後に受賞したポスターと省庁からの追加のポスターは、学校、企業、看板などの場所に掲示される。
- 2.食物と健康について人々を教育する
コンテストの前に、参加者に食と健康について教育するためのオリエンテーションを行う。全国で開催されるセミナーには、興味があるコンテストの参加者以外の人々も参加できる。
- 3.健康食品をオンラインで注文する際の割引実施
Grab FoodやGo Vietなどのオンライン配送会社と提携し、レストランから健康な食事を注文した顧客に割引コードを作成して、料理する時間がなくても、より安い価格で健康な食事を注文できるようにする。